

令和 7 年 10 月 10 日

保護者 様

富士市立元吉原小学校  
校長 荒田 久仁子

## 令和 7 年度第 1 回学校評価アンケート集計結果について

秋晴の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では、今年度の重点目標として「あたたかい 心と ことばで」を掲げ、日々の教育活動に取り組んでおります。また、コミュニティ・スクールも 6 年目を迎え、元吉原地区の皆様のお力添えをいただきながら、「地域とともにある開かれた学校」を目指して教育活動を進めております。

こうした教育活動を通して、子どもたちにどのような力が育まれているかを検証し、成果と課題を後期からの教育活動に生かすために、7 月に子どもたちと保護者の皆様を対象とした学校評価アンケートを実施いたしました。

学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

### 重点目標 「あたたかい 心と ことばで」

本校は、「一人一人が安心して自分らしさを発揮できる学校」を学校経営方針とし、日々の教育活動に取り組めております。前期の学校評価の結果からも、多くの元吉原小の子どもたちが「学校が楽しい」と感じ、安心して学校生活を送ることができている様子がうかがえました。後期においても、学校生活全体を通して、仲間とともに互いの良さを磨き合い、自分らしさを発揮できる学級づくり・学校づくりを進めてまいります。

各ご家庭におかれましても、お子様の成長に寄り添い、一人ひとりが自分らしく努力する姿を温かく見守り、励ましていただければ幸いです。

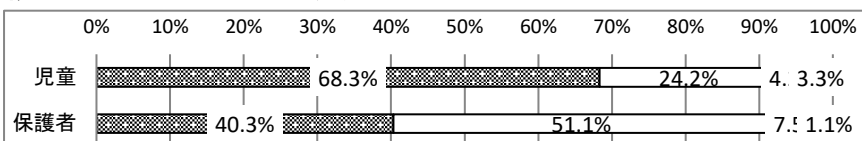
評価段階は、すべて「とてもそう思う」「少しそう思う」「あまり思わない」「ぜんぜんそう思わない」の 4 段階です。

目標値（グラウンドデザインに示されたもの）、児童・保護者の割合は、「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせた肯定的な評価の割合です。（ ）内は、令和 6 年度前期の数値です。

### ◎子どもが学びを実感する授業を創る

授業では ICT 機器を効果的に活用し、友達と学び合う中で、「分かる楽しさ」や「できる喜び」を味わうことができます。学校での学びが家庭学習にもつながり、読書や宿題にも主体的に取り組めるようにしていきます。

授業が楽しいと思います。

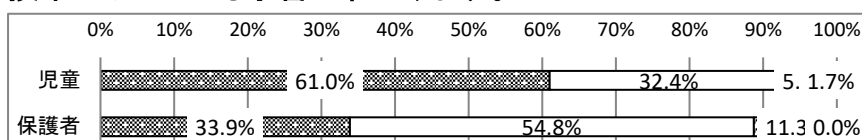


目標値 90%

児童 92.5% (93.0%)

保護者 91.4% (84.7%)

授業でやっている学習がわかります。

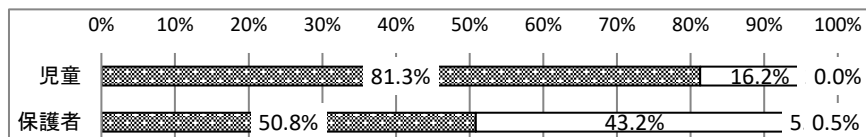


目標値 95%

児童 93.4% (93.8%)

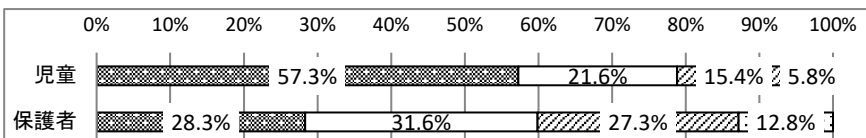
保護者 88.7% (82.9%)

## 授業でICT機器（パソコンやタブレットなど）をつかっています。



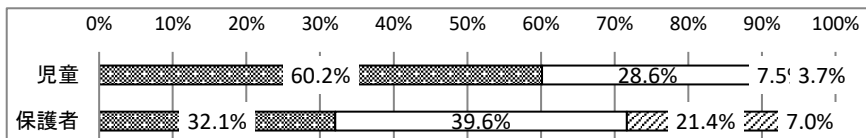
児童 97.5% (96.6%)  
保護者 94.0% (93.2%)

## 学校で、すすんで読書をしています。



児童 78.8% (83.4%)  
保護者 59.9% (51.3%)

## 毎日、自分からすすんで家庭学習をしています。



目標値 90%  
児童 88.8% (86.8%)  
保護者 71.7% (63.7%)

子どもたちからは、「授業が楽しい」(92.5%)、「授業の内容が分かる」(93.4%)と、高い評価をいただきました。その背景には、「個々に合わせた学習（個別最適な学び）」と「友達と学びを深める学習（協働的な学び）」を組み合わせ、「子どもが納得して分かる授業」へと改善を進めてきたことがあります。ICTの活用や友達との学び合いを大切にすることで、学びの楽しさにつながっていることがうかがえます。一方で「授業が楽しい」とは感じていない7.5%の子どもたちにも丁寧に寄り添い、誰もが授業の楽しさを実感できるよう、さらに取組を進めてまいります。

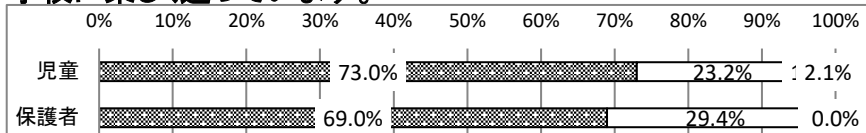
また、ご家庭におかれましても「えがオン学習（探究学習）」をきっかけに、自主的に読書や宿題に取り組めるよう、引き続き温かい声掛けやご支援をよろしくお願いいたします。

## ◎よさに向かって一歩踏み出す集団(個)を創る

温かい雰囲気の中で子どもたちは安心して学校生活を楽しんでいます。一人ひとりの「挑戦してみたい」という思いを大切に、進んで取り組む姿を励ましていきます。

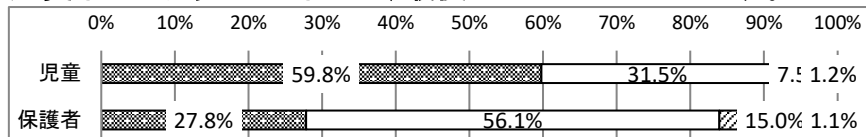


## 学校に楽しく通っています。



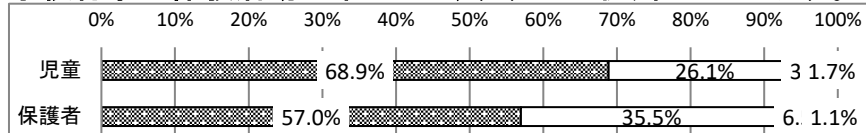
目標値 98%  
児童 96.3% (96.9%)  
保護者 98.4% (98.0%)

## 大変なこともあきらめないうで、最後までがんばっています。



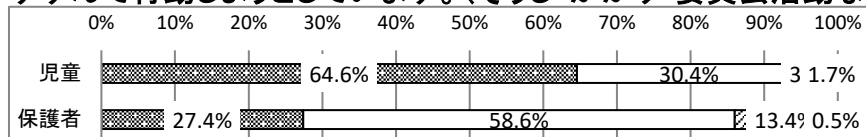
目標値 95%  
児童 91.3% (81.5%)  
保護者 84.0% (82.5%)

## 学校行事や体験活動が楽しみで、すすんで取り組んでいます。



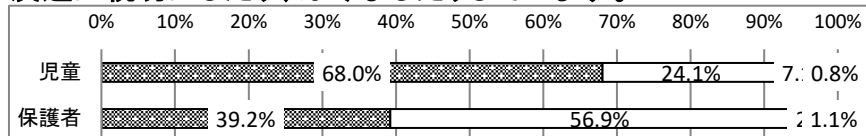
児童 95.0% (90.3%)  
保護者 92.5% (92.8%)

## すすんで行動しようとしています。(そうじ・かかり・委員会活動など)



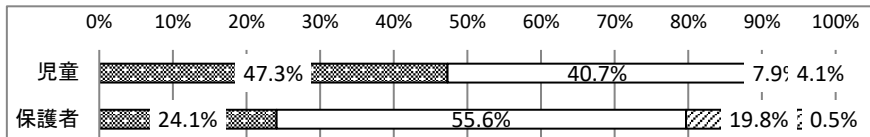
目標値 95%  
児童 95.0% (94.6%)  
保護者 86.0% (86.6%)

## 友達に親切にしたり、はげましたりしています。



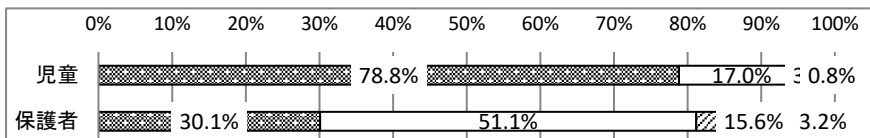
児童 92.1% (93.5%)  
保護者 96.1% (93.8%)

やさしい言葉づかいで話しています。



児童 88.0% (86.0%)  
保護者 79.7% (72.3%)

友達や先生、地域の人にすすんであいさつをしています。



児童 95.9% (96.1%)  
保護者 81.2% (80.5%)

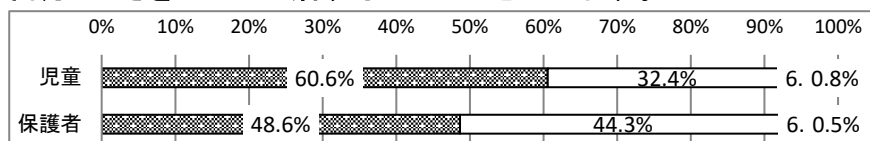
今年度は、子どもたちと保護者の皆様から、「やさしい言葉づかいで話している」という項目に改善が見られました。本校の重点目標でもある「あたたかい心とことばで」に向けた取組の成果として、自他を大切にすることの成長が着実に表れております。このことが「学校が楽しい」という高評価につながる理由の1つとも考えられます。また、進んで行動しようとする気持ちも育ってきています。後期では、学級や学年、委員会活動で、行事やイベントを計画し、主体性をさらに育てていけるように取り組んでまいります。

一方、3.7%の子どもたちが何らかの理由で学校を「楽しい」と感じられていないことも分かりました。今後も一人ひとりを大切に、すべての児童にとって安心できる居場所となるよう、子どもたちの思いや願いに寄り添いながら教育活動を進めてまいります。

## ◎自分らしさを大切にする集団(個)を創る

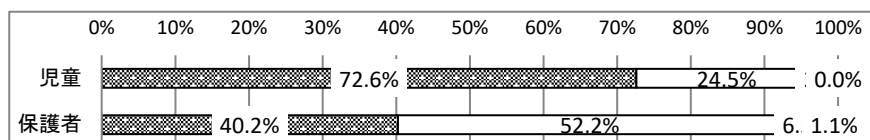
多くの子どもが「頑張りや努力を認められている」と実感しています。今後も互いの良さを認め合い、自分らしく安心して生活できる学級・学校づくりを進めていきます。

自分らしさをだして生活することができています。



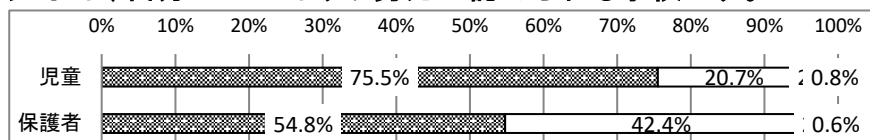
目標値 95%  
児童 92.9% (93.8%)  
保護者 93.0% (90.9%)

自分や友達の命を大切にするため、考えて行動できています。



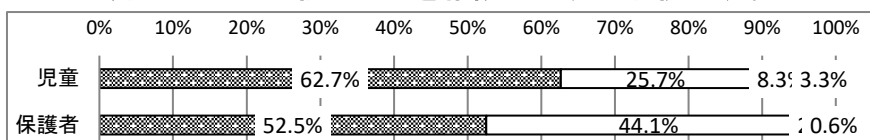
児童 97.1% (97.3%)  
保護者 92.4% (92.3%)

元小は、自分のがんばりや努力が認められる学校です。



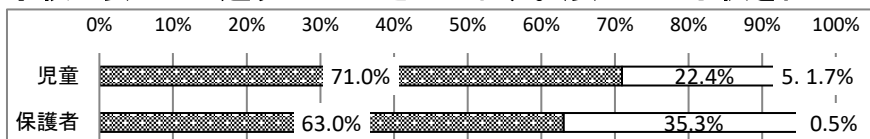
目標値 100%  
児童 96.3% (95.3%)  
保護者 97.2% (95.6%)

元小は、困ったことや悩みごとを相談しやすい学校です。



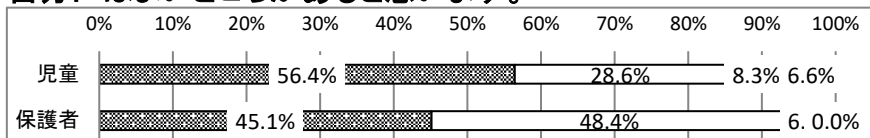
児童 88.4% (90.7%)  
保護者 96.6% (94.0%)

学校に安心して通うことができます。(安心して子供を任せられる学校)



目標値 100%  
児童 93.4% (94.2%)  
保護者 98.4% (97.4%)

自分にはよいところがあると思います。



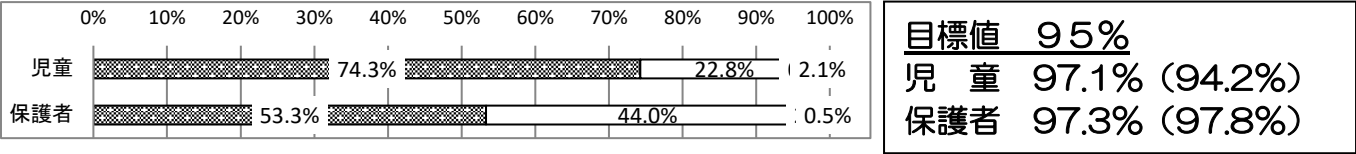
目標値 90%  
児童 85.1% (84.1%)  
保護者 93.5% (91.9%)

今年度も、多くの子どもたちが自分のがんばりや努力が認められ、安心して学校に通えていることが分かりました。一方で、「自分にはよいところがある」という項目については、一定の改善傾向が見られるものの、肯定率は80%台にとどまっています。

今後も、子どもたちが互いのよさを認め合い、個性や挑戦を温かく支え合える学校づくりを、教職員も子どもたちと共に推進してまいります。

◎コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとして、地域の人が協力してくれると学習がよくわかります。



令和7年度前期も、多くの保護者の皆様や地域の方々がボランティアとしてご協力くださり、心より感謝申し上げます。子どもたちは、皆様と関わる機会を継続していただいていることで、学校の環境や学びの場がますます充実してきていることを実感しています。今後も、ふれあい協力員（ボランティア）としてご参加いただける方を募集しております。地域と学校が力を合わせ、子どもたちの学びと成長を共に支えていけるよう、よろしくお願いします。

◎保護者の皆様からのいただいた主なご意見

いただいたご意見	学校からの回答
【スクールバスについて】 鈴川側にもスクールバスの運行があると助かります。	夏の暑さの中での通学は、保護者の皆様にとっても大きなご心配の一つであると受け止めております。国の基準では、小学生でおおむね 4km 以上の通学距離がある場合に、スクールバスが検討されています。鈴川側での運行については、現時点ですぐに実現することは難しい状況ですが、通学時の安全確保や暑さ対策の工夫について今後も検討を重ねてまいります。
【防災教育について】 学校の立地的にも海が近いことから、防災のシミュレーションを地域、学校、保護者、子どもと共にもっと具体的にやってみてもいいと思います。	本校は海に近い立地であることから、地震や津波を想定した避難訓練を毎年行い、児童が自らの命を守る行動をとれるよう指導しています。また、今年度は地域の防災担当者とも連携し、実際の地震を想定した話し合いも行いました。 今後は、地域・学校・保護者・子どもが一体となった、より具体的な防災シミュレーションにも取り組んでいきたいと考えております。ぜひご協力をお願いいたします。
【持ち物について】 ランドセルが重く、特にパソコンを持ち帰る日は負担が大きいと、持ち帰りを必要最低限にしてほしいとのご意見がありました。また、体育のある日は「体育着登校」とすることで、荷物の負担を減らしてはどうかというご提案もいただきました。	登下校時の安全面や清潔面などの課題もあるため、現時点では私服での登校とさせていただいております。ランドセルや荷物の重さにつきましては、これまでもできるだけ負担が軽くなるよう工夫してきましたが、引き続き子どもたちの健康や安全を考える上で重要な課題として捉え、今後も担任と連携し、さらに負担が少なくなるよう対応を進めてまいります。
他にも、ご意見・ご提案をいただきありがとうございます。 いただいたご意見は真摯に受け止め、子どもたちが安心・安全に学校生活を送れるよう、改善に努めてまいります。	